

剣 牙



第3偵察戦團大隊長兼ねて今津駐屯地司令
1等陸佐 足立 賢一

柔らかな日差しの中、折吹く冷たい風の季節、令和五年三月十六日に第三偵察戦團大隊は、今津の地に新編されました。廃止となった第三戦車大隊及び第三偵察隊のOB等関係諸団体の皆様におかれましては万感胸に迫る思いであったことと拝察いたしますが、これまで両部隊に對しますご支援、ご協力、激励を賜りましたこと、また、隊員ご家族皆様の部隊の活動に對するご理解に深く感謝申し上げますとともに、新たな部隊の一員となった全隊員諸官の今後の奮闘に期待するところであります。

さて、今更多くを申し上げるまでもなく、欧州、インド太平洋地域における国際秩序への挑戦により、自由で開かれた国際社会が深刻な事態にさらされています。国内においては、甚大な被害をもたらす自然災害や南海トラフ地震の蓋然性が高まりつつあることが懸念されています。これらを背景として、昨年十二月戦略三文書が策定され、防衛力強化の整備が始まり、大隊においても、幅広い任務に對し得るよう新装備を駆使した部隊の幅広い運用を目標に訓練に精進し、戦力化を図っているところであります。我々に対する皆様からの大きなご期待にこたえられる部隊となるよう成長して参る所存です。

結びに、関係者皆様の厚いご支援、ご協力を賜りますとともに、新たな時代を切り拓く部隊としての誇りを持ち任務に邁進することを誓い申し上げます。

令和五年三月十六日に今津駐屯地に新編され、新編事業も一段落して、大隊本部、各中隊は戦力化目標を踏まえた段階的な各種訓練、師団管内及び隊区を中心とした新装備を含む募集広報支援等に対応しつつ、はや四か月が過ぎました。上級部隊、関係各部隊の御知見、御支援のおかげで、大隊長の要望事項である「前進」、「和」を具現すべく第三偵察戦團大隊としての実力を着実に積み上げているところであります。

さて、各部隊及び隊員御家族の皆様への情報発信手段として、本機関紙「剣牙」の発刊の運びとなりました。機関紙名の「剣牙」は、第三偵察戦團大隊のシンボルマークのサーベルタイガーの和名「劍齒虎」の一字の「剣」、シンボルマークのコンセプトである偵察中隊と戦團中隊を表現している「牙」を合わせた名であります。これからの偵察戦團大隊の現況、隊員家族を含む活躍を発信していきたいと考えています。

最後に、第三偵察戦團大隊は師団長の耳目として、また、滋賀県隊区担任部隊として即応すべく日々前進し、健全な隊員、部隊育成に邁進し、地域に愛され、信頼される部隊となるよう日々切磋琢磨してまいりますので、ご理解、ご協力の程、よろしくお願い致します。



第3偵察戦團大隊
副大隊長
3等陸佐 西岡 正雄



第3偵察戦團大隊
最先任上級曹長
准陸尉 水國 聡

この度、三月十六日付をもちまして、初代第三偵察戦團大隊最先任上級曹長を拝命した水國准尉です。

新たに誕生した第三偵察戦團大隊において、最先任上級曹長の職を与えて頂いた名譽に感謝申し上げますとともに、その重責に身の引き締まる思いであります。

指揮官を直接補佐する最先任上級曹長としての地位・役割を理解し、常に部隊の為に何が出来るかを第一優先として、大隊長 足立一佐の要望事項である「前進」、「和」の具現徹底を図り、積極的に行動し、部隊の戦力化及び准曹士の目標となるよう努めてまいります。

足立大隊長を核として、新たな隊員との調和、新たな装備車両、新たな装備火器と共に、第三師団長の耳目となり、あらゆる状況の変化に即応して、情報収集任務に邁進するとともに、各中隊の先任上級曹長と連携を図り、規律正しく常に目標を持って自発的に行動できる准曹士隊員の育成に尽力いたします。

最後に、第三偵察戦團大隊発展のため、専心職務に邁進する所存でありますので、何卒御指導御鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



戦團中隊長
3等陸佐 山中 賢

要望事項
「共に前へ」



偵察中隊長
1等陸尉 荒牧 永吉

要望事項
「やるべきことをやれ」



本部管理中隊長
1等陸尉 甲斐 誠也

要望事項
「創造、そして継承」

第三偵察戦闘大隊 編成完結

令和五年三月十六日、第三師団に第三偵察戦闘大隊が新編されました。
第三師団長、荒井陸将（当時）から第三偵察戦闘大隊旗が授与されました。
また、荒井師団長及び足立大隊長による一六式機動戦闘車への入魂式が挙行され、第三偵察戦闘大隊に命が宿りました。



各中隊訓練風景

第三偵察戦闘大隊が新編され、早期戦力化に向けて「本部管理中隊」、「偵察中隊」、「戦闘中隊」がそれぞれ各種訓練を実施中です。

本部管理中隊



MCVからの人員救出訓練



CCV操縦訓練



至近距離射撃訓練

偵察中隊



RCV操縦訓練



オート操縦訓練



偵察用ボートへのオートバイ積載

戦闘中隊



MCV操縦訓練



MCV射撃訓練



60mm迫撃砲射撃訓練

滋賀県長浜曳山祭り

四月十四、十五日に滋賀県長浜市で実施された長浜曳山祭りに今津駐屯地として支援し、第三偵察戦闘大隊の隊員も数多く参加して本行事の円滑な進行及び盛会に寄与しました。
また、長浜曳山祭りは、歴史が長くユネスコ無形文化遺産にも登録されており、支援した隊員は「歴史的な祭りを支援できてとても嬉しい」と語りました。



家族オリエンテーション

令和五年四月二十二日、大隊は隊員家族オリエンテーションを実施し、隊員の家族等に第三偵察戦闘大隊について理解を深めていただきました。



第3師団創立六十二年 千僧駐屯地創設七十二周年記念行事

大隊は、令和五年五月二十一日に千僧駐屯地で実施された、第三師団創立六十二年・千僧駐屯地創設七十二周年記念行事に参加し、第三偵察戦闘大隊の新編を広報するとともに、整齊円滑な行事の実施に寄与した。

主に、「観閲式・観閲行進」「音楽隊との共演によるMCV機能展示」「戦闘訓練展示」「装備品展示」に参加し、特に第三音楽隊による音楽演奏のコラボレーションでは、積み上げられた段ボールの壁をMCVが突き破って登場するという斬新な演出を披露し、来場者を驚かせました。



観閲行進



観閲式



装備品展示



戦闘訓練展示



音楽隊との共演によるMCV機能展示



部隊マークの由来



「伝統の継承」

第3戦車大隊の「ライオン」、第3偵察隊の「黒豹」の両者のネコ科を継承し、「サーベルタイガー」が選ばれました。

「部隊の特性を体現」

特徴的な2本の牙が、主力部隊である「偵察中隊」「戦闘中隊」を表現しています。

「地域性の表現」

近畿圏内に住む1450万人の生活と産業を支える400万年の歴史を誇る日本最大の湖、「琵琶湖」をサーベルタイガーの首元の模様を用いて地域性を表現しました。

富士総合火力演習参加

偵察中隊は、令和五年五月十日から二十八日までの間、東富士演習場で実施された富士総合火力演習に参加し射撃練度を向上させました。



フォローしてね!!
ガオガオ



Instagram



Twitter



ホームページ

逐次、更新中!!
今津駐屯地に駐屯する各部隊の訓練、行事、活動等を投稿していきます!!
ぜひ見に来てください!!

今津駐屯地
ホームページ
公式SNS